

## 令和5年度第1回西淀川区区政会議

1 開催日時：令和5年6月28日（水）午後6時30分～午後8時17分

2 開催場所：西淀川区役所5階 会議室

3 出席者の氏名：

（委員：敬称略、50音順）

麻井、伊関、井上、植木、浦中、大垣、大西、岡本、三本松、多田、田中、西川、  
長谷部、藤江、藤浪、山本、吉田、吉見

（事務局：西淀川区役所）

中島区長、難波副区長、奥本総務課長、西尾政策共創課長、近藤地域支援課長、  
木村安全まちづくり担当課長、松本窓口サービス課長、貴志保健福祉課長、山城  
生活支援担当課長、横内こども福祉担当課長、青木保健主幹

（市会議員）

山田はじめ市議会議員、山田かな市議会議員

4 議題

- （1）令和4年度西淀川区運営方針の振り返りについて
- （2）グループ討議「令和5年度西淀川区運営方針について」
- （3）その他

5 議事内容

○大垣議長

こんばんは。

今日は副議長がいませんので、僕一人でやりますので、ご了承願いながら前へ進めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

それでは、区役所の事務局からの説明、よろしく申し上げます。

○西尾課長

皆さん、こんばんは。

本日の会議は現時点で17名の参加があり、定員27名の過半数を占めていることから、会議が成立していることを確認いたしました。

議事についてですが、次第のとおり、令和4年度西淀川区運営方針の振り返りについて、グループ討議「令和5年度の西淀川区運営方針について」、そしてその他を予定しております。

資料1の2ページ目に西淀川区区政会議の委員名簿がございます。この中で、西淀川区社会福祉協議会選出委員に変更がありましたのでご報告いたします。西川博子委員から麻井郁委員に変更しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

そして、この区政会議の状況につきましては、ホームページや広報紙などで報告いたしますので、様子が分かるように途中で写真を撮らせていただきますので、ご了承くださいますようによろしくお願いいたします。

それでは、議長、よろしくお願いいたします。

#### ○大垣議長

それでは、議事に先立ちまして、区長からご挨拶をよろしくお願いいたします。

#### ○中島区長

どうも皆様、こんばんは。西淀川区長の中島でございます。

皆様におかれましては、区政及び市政のほうにご協力、ご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。また、本日お忙しい中、また夜分遅い中、お集まりいただいたことを感謝いたします。ありがとうございます。

5月8日にコロナが2類から5類ということで、非常に地域のほうも動きが盛んになってきたなというのを日々感じるところでございます。

それで今年度、報道発表資料の中にも幾つかありますが、新たに発表しましたことを簡単に触れさせていただきたいなというようなことでございます。報道発表資料で「にしよどがわ万博」の取組を進めますというのがありますが、これは何ぞやと言

ましたら、2025年に大阪・関西万博がありますが、これの機運を盛り上げるというのが第一の意味合いでございます。ただ、それだけではなくて、万博の目的は何ぞやと言いましたら、SDGsを達成することでございます。SDGsを達成することについてぜひ皆さんと一緒に考えていただいて、実行してもらおうというような形の体験型としているのが「にしよどがわ万博」でございます。ぜひ、こちらの広報資料をご覧いただけたらと思います。

それからもう一つ、報道発表資料で「健康経営セミナー」とありますが、これが何かということをご説明させていただきますと、実は民間の方と「ウェルビーイング（well-being）西淀川」という組織をつくってございます。これは自由に出入りできるような形で、もしご興味のある方だったら入っていただけたらと思うのですが、西淀川をよりよくするために何をやっていったら良いかというところを一緒に考え、実行に当たっては官民連携あるいは民民連携でやっている組織でございます。その中のプログラムの一つとして、取組の一つとして「西淀川を大阪で最も健康なまちにしよう」ということを考えてございます。アプローチの仕方としては、一つは企業に対して健康経営という概念を入れていこうというのがあるのですが、もう一つ区民の皆さんには一番身近なところ、ヘルスリテラシーの向上、特に今年度は「がんリテラシー」ということで、がんは国民病と言われるように誰でもなる可能性があるというところもございますので、ぜひがんの予防も含めてがんリテラシーを向上させていこうという取組でございます。こちらの広報資料もご覧いただけたらと思います。

また、本日は議論のほうにしっかり時間を割いております。運営方針の項目別にテーブルに分かれていただいておりますが、そこには私どもの担当課長がつきますので、疑問などがありましたら、どんどんその課長に説明いただけたらと思います。今年度の業務改善あるいは来年度以降の業務遂行に思い切りこの部分を入れていきたいなど思っておりますので、ぜひ十分議論いただけたらと思っておりますので、皆さん、本日はどうぞよろしく願いいたします。

## ○大垣議長

ありがとうございます。

それでは、議題のほうに入りたいと思います。令和4年度西淀川区運営方針の振り返りについて、区役所から簡潔に説明をお願いします。

## ○西尾課長

それでは資料2で説明させていただきたいと思います。令和4年度運営方針 成果から見た自己評価でございます。

まず、総括としましては、下にある5つの経営課題を掲げて取組を進めてきました。新型コロナウイルスの感染症の影響もありましたけれども、十分な感染症対策を講じながら各種イベントなどを再開してきて、地域コミュニティの活性化や災害への備えの強化などを実施してきました。また、子育て世代向けのウェブサイト「にしよどほっとえーる」の開設やLINEによるイベントの案内配信の開始など、SNSやウェブを活用した情報発信に力を入れてきたところでございます。そして、子育て支援施設や子育てに関する相談窓口の周知に取り組んできたところでございます。今後も、区政会議や区民アンケートの様々な手法を通じて区民のニーズを把握し、区民のニーズに合わせた的確な情報発信や施策を進めることで西淀川区の魅力向上を図ってまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、個別の項目が下にありますが、若干、未達成の部分があるので説明させていただきたいと思います。上から3段目、具体的取組の「区内事業者との連携のまちづくり支援」についてですが、これは1つの項目で「商店街等のイベントをきっかけに商店街を利用したいと感じる参加者の割合65%以上」を目標としておりましたが、商店街等のイベントの開催ができずアンケートが採れていないということで未達成とさせていただいております。商店街再生につきましては、イベント開催だけではなく関係者の意向等を聞きながら課題等を共有して、効果的な事業展開を検討しながら各種事業を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

そして、真ん中の4つ目「社会教育環境の充実」につきましてですが、これは人権が尊重され、生涯学習等の社会教育が活発で社会教育環境が充実されていると感じる区民アンケート回収の割合が目標値に達していなかったものです。今後の対応方法としましては、やはり人権や生涯学習に携わっていただいている関係者の皆様のご意見を伺いながら、人権尊重や生涯学習の取組が人生を豊かにする意義深いものであるということ、関心の低い区民の方に対してもご理解いただけるように、きっかけづくりや啓発、広報に努めていきたいと考えております。

「区政会議の有機的運営」につきましては、各委員からの意見や要望、評価について、十分に区役所や委員等の間で意見交換が行われていると感じている区政会議委員の割合について、目標が80%でしたが76%と未達成になっておりました。会議中に発言できる機会、時間が少ないとのお声もいただいているため、グループ討議についての時間を確保するとともに、分かりやすい資料作成や丁寧な説明に努めていきたいと思っております。

「広聴・広報機能の充実」は、「区役所が様々な機会を通じて、区民の意見やニーズを把握していると感じる区民アンケート回答者の割合」が目標45%以上に対して43.3%ということと、区ホームページの平均アクセス数について月4万5,000件を目指しておりましたが月約4万2,000件と、目標に達していませんでした。今後の方向性としましては、従来の区民アンケートに加えてLINEアンケートを活用した手法を取り入れ、これまで以上に区民の方のニーズを把握して、そしてホームページコンテンツなどを充実させて必要な情報を取得しやすい工夫をしていきたいと考えております。

「区民サービスの向上と効率的な区政運営」につきましては、不適切な事務処理事案の件数が、前年度から減っておりますけれども10件でした。今後も不適切の数を減らすため、管理職が中心となり、西淀川区マネジメント指針の実践などを通じて、不適切な事務処理の発生防止や事務レベルの底上げを図ってまいりたいと考えております。

す。

そして、「さらなる区民サービスの向上」につきましては、住民情報窓口の受付予約システムの年間利用者数について、目標240件に対して65件と少なかったものです。区役所に行く必要がないコンビニ交付のほうが利便性が高いということで、受付予約システムの利用が進まなかったのではないかと考えておりますので、コンビニ交付等を強化して区役所に来なくても処理ができることで、住民情報窓口における混雑の解消や待ち時間の短縮を図ってまいりたいと思っております。

以上でございます。

続きまして、資料3についてご説明させていただきたいと思っております。区政会議の質問・意見に対するその後の対応でございます。

これまでの区政会議でいただいたご意見に対して、進展したものについて記載させていただいております。例えば、番号1番でいいますと、右側に対応を書いているのですが、最後の5行に「令和5年度から西淀川インターナショナルコミュニティと連携協定を結び、「にしよど☆グットスタート for ハイスクール」として、義務教育終了後の子どもたちが希望する進路へ進めるよう、学習場所の提供などを含めた子どもたちと保護者への支援の充実を図ってまいります」と記載させていただいております。

また、番号2番と3番につきましては、令和3年度に災害時要援護者について、関係者・関係団体と協議を行い、令和4年度に要支援者への支援推進や個別避難計画策定に向け、要支援者避難支援推進計画を立ち上げました。

このように、今までにいただいたご意見も私たちは区政に生かしていきたいと考えておりまして、生かした、進展があったものについては今後も報告させていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それと、資料4、区政会議への事前質問・意見への回答でございます。

西川委員からご質問をいただいて、西川委員には個別で回答させていただいております。

ます。その内容を書かせていただいておりますので、ご一読いただきますようお願いいたします。

説明については以上でございます。

**○大垣議長**

ありがとうございます。

ただいまの説明について、意見、ご質問がありましたらよろしくお願ひいたします。発言の際には、初めにお名前等をおっしゃってください。

はい、どうぞ。

**○吉田委員**

佃の吉田です。

今、令和4年度運営方針の自己評価をご説明いただきましたが、例えばこの運営方針について、他者から見た外部機関の評価であったりとか、あるいは他の区や市等の取組と比較した検証があっても面白いと思うのですが、そういう取組は他の区で取り入れられているのか、あるいは西淀川区で取り入れることを考えてはいないのでしょうか。

**○大垣議長**

はい、どうぞ。

**○西尾課長**

すみません、他区でそういったことが行われているかどうかはまだ調べ切れてないのですけれども、他区の状況も確認しながら何か良い方策があれば取り入れていきたいとは思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

**○大垣議長**

ほかに。はい、どうぞ。

**○岡本委員**

こんばんは。生涯学習です。

資料2にあります運営方針令和4年度ですけれども、生涯学習の推進ですね。「順調でない」と書かれているのですが、コロナの影響で学校関係の施設が使えなかった状態、それと通っている方はご老人の方が多いので、皆さんが自粛されて教室に参加できない状態が続いていました。私たちはみんな誰でも通える教室を開けたかったのですが、施設側も借りられない、皆さんもコロナになりたくないというので不参加が多くて、ここ二、三年、参加ができていない状態です。コロナが5類になって今年から本格的に活動していますので、この「順調でない」というのを順調にさせていきたいと思います。

また、施設・学校に関しては制限もあって、時間、教室、あとキャパですね、使用を許可できる学校とできない小学校がございまして、それを統一したく、私たちも努力している次第でございます。時間については、夜間は使えないとか、午前中は子どもさんがいるから遠慮してほしいとのことで、学校があるから私たちが借りるという体制なのか、地域の建物なので私たちも使える体制なのか、各小学校で一度話し合っておりますので、これからは学校とも話し合っ、もっと場所を借りていくように努力したいと思います。よろしくお願いいたします。

**○西尾課長**

ありがとうございます。

**○大垣議長**

他にご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

**○近藤課長**

ご意見をいただきましたので、そちらはまた検討させていただきます。ありがとうございます。

それでは、続きまして議題2に移りたいと思います。事務局から説明をよろしくお願いいたします。

## ○西尾課長

それでは、資料5をご覧くださいませでしょうか。

これからグループで議論いただくということで、前回ご説明しました運営方針には5つのテーマがあります。「共創によるまちの魅力向上」、「こどもたちがいきいきと育つ環境整備」、「地域コミュニティの活性化」、「安全で快適なまちづくり」、そして「誰もがいきいきと暮らせる温かいまちづくり」、これらにつきまして皆さんでグループ討議をしていただきたいと思います。「今後、こんなことをできたら良いよね」とか「区役所に対してだけではなく地域全体でこうした方が良いですね」というご提案をいただいて、その中で区役所でもできることはさせていただきたいと考えておりますので、「来年度に向けて」とか「将来に向けてこんなことが良いよね」というご議論をいただけるとありがたいと思っております。

グループ討議後に内容を発表いただきますので、発表者を決めていただけるとありがたいと思っております。ホワイトボードもございます。机の上でやっていただいても結構ですし、ホワイトボードを使いたいという方があればホワイトボードを使って書いたり貼ったりしていただいても結構ですので、よろしく願いいたします。

それでは、グループ討議に入りますが、進め方として、まず各自で5分間付箋にご意見を書いていただいて、記入したものを順次発表していただきます。発表する中で議論もできますし、最後に意見交換をしてグループ内での討議もございますので、最初に全部出さなければならぬわけではございませんので、こういった進め方で割り振りさせていただいておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

実行する際には様々な制約がありますが、できるだけ自由な発想、意見を聞かせていただいて、できることから取り組んでいくということにさせていただきたいと思っております。そして、多くの皆さんにご意見をいただけるように発言は端的にお願いしたいのと、他者への批判、意見に対する批判や否定などはできるだけ控えていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、ただいまから各自の検討内容ということで、付箋と色付きのマジックもごございますので、ぜひとも自分らのグループの討議内容について、何かご意見をいただけるとありがたいと思います。

それでは、よろしく願いいたします。

(グループ討議)

#### ○西尾課長

ただいまから発表をしていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

#### ○吉見委員

入浴サービスの吉見です。

こちらは「安全で快適なまちづくり」ということで、議論をさせていただきました。こちらの経営課題としては、災害への備えと環境の美化ということで、公園という場所に焦点を当ててお話をさせていただいたのですけれども、今、西淀川区は公園がとても多いんですけども、その中でも雑草が生い茂っていたり、あとたばこの吸い殻が多かったり動物のふん・尿が多かったりと、子どもが安全に遊べる場所ではないというところもあります。今までは、公園というのは行政の方ももちろんですけども、地域の方が結構中心になって定期的に掃除をされたり、美化活動に取り組まれたりしてきているのですけれども、何分高齢化が進んできておまして人手不足というのもありますので、また新しくファミリー層が入ってきて、お子さんが小さい家庭でもなかなか公園で遊ばせることができない家庭も多いのですけれども、なかなかそういった親御さんが公園をきれいにしたいと思っても、どこに声をかけていいか分からないというところで、昔からずっと住んでおられる方と新しく入ってきた方とのコミュニケーション不足であったり、またそういった行政と地域とのコミュニケーション不足もあ

ったりするかもしれないということで、コロナ禍もあったのでなかなかそういう顔と顔を合わせる機会が少なかったので、今こういった制限がちょっとずつなくなってきた中で、いま一度、行政の方にも音頭を取っていただいて、こういったコミュニケーションをしっかりとって、公園の美化活動を進めていけば良いのではないかという話をしていました。

今、緑陰道路でもクリーン大作戦があるのですけれども、今年の9月から同じように公園版といますか、拡大版として緑陰道路以外の公園でも、行政の方が地域の方と一緒にクリーン大作戦のような活動をされているとお聞きしましたので、またこれから公園がきれいになっていくことも期待できるのではないかと考えています。

公園は災害という視点で見ますと避難所としての機能もあるので、地域の方が最寄りの公園を美化することで、ここが避難場所だとみんなに認識してもらったり、このトイレはきれいにしておきたいという視点で皆さんに公園の美化に取り組んでもらえたりすれば、より効果も上がるのではないかと考えています。

そういった、行政の方や地域の方がいろいろと音頭を取ってされても、なかなか地域の実際に住まれている方にまで情報が行き届かないと思うので、そういった場合の情報発信として、例えば動画をつくって皆さんに見ていただいたり、モデルケースをつくったりして「具体的にこういう活動をしていますよ」ということを区民の方に提示できれば、より皆さんが参加できる美化活動、安全で快適なまちづくりへの活動につながっていくのではないかという話をしました。

以上です。

(拍手)

○西尾課長

ありがとうございました。

それでは、次のチームの発表をお願いします。

○多田委員

多田です。

我々のチームは、事業者との連携事業などといった観点で話し合っていたのですが、まず課題として、コロナを経て地域の体力も下がっていて、さっきも話が出てきましたけれども、行事とが低迷しているという状況で、「昔に比べたら祭りって減ったよね」という話をしていました。第一層支援という観点で考えても、町会の加入率が下がってきているし、とはいえワンルームマンションとか増えていて、なかなか地域と人がつながらないということが問題ではないかということがまず意識としてあって、ゴールとしてはその地域の課題を自分事として捉えて、それに対して自分で行動する人というのを育てていきたいと。ではどうするかというと、まずは西淀川のことを好きになってもらわないといけないですよと、地元愛を持ってもらわないといけないと。では、その地元愛を持ってもらうにはどうしたら良いかということ、まず地域を好きになるにも嫌いになるにもしても、まずは地域を知ってもらわないといけませんよねと。知ってもらう機会をたくさんつくりましょうと。いろいろやったら体力が要りますけども、幸いなことに西淀川区制100周年と大阪・関西万博の開催年が重なっていて、2025年は外せない年ということで、万博というのをエンジンにして、いろんな地域を知ってもらうようなイベント、例えばまち歩きとごみ拾いを掛け合わせるとか、公園の草むしりと掛け合わせるとかして、まち全体を使った、まちの魅力、そして西淀川の歴史を知ってもらうようなイベントを数多く実施していきましょうと。

地域の人だけではなかなか難しいと思うので、連携先として事業者もそうですし、最近では大学や高校も探究の授業として、地域に入って何かプロジェクトをやってみるということが大学でも増えてきています。学部横断型でチームを組んで、何か社会課題解決のために頑張ってみようという授業が最近とても増えてきているので、そういうところと西淀川というフィールドを提供してコラボして、できるだけ来てもらうようにしたら良いのではないかという意見も出ていて、そういうのも総称して万博に向けて、例えば西淀川でサテライト会場とかサテライトイベントみたいな感じにして、

「うちの商店街が万博会場」みたいな、それぐらいのノリでできたら良いのかなと。それで一発ドカンと打ち上げて、終わった後も頑張って継続させていって、先には20年、30年後の未来があるわけです。

西淀川って、多分今は「交通の便が良いから」とか「住みやすい、都心に近い割に安い」みたいな感じで選ばれていると思うんですよ。難波にも1本で行けるし、梅田にも近いし神戸にも近いしというので。ただ、例えば新大阪に行く、十三に行くとなると、鉄道が通ってないしバスだけみたいな感じになってしまっていて、その辺の交通の便が悪いのかなと。ただ、新大阪駅などに目を向けてみると、リニア新幹線も来るし、北陸新幹線も来るし、なにわ筋線も来るしというのでどんどん変わっていくし、そこに人が集まっていくよって。そことアクセスが悪いのは西淀川にとってちょっと都合が悪いよねとかね。万博会場は夢洲だから、夢洲に行くために隣の此花区ではゆめ咲線も延伸されるでしょう、京阪も延伸してくるでしょうというところで、じゃあそこに対する西淀川のアクセスってどんなもんかねという。例えばそこで、今、大阪メトロ等がやっていますけどM a a Sなどを使って、すぐにタクシーみたいに車を呼べたりとか、舟運とか水運などを使ったりしてそういうところとの交通の便というのを良くしていくことも必要だけど、そういうインフラ整備はお金がかかりますよねっていう話なんですよ。そのために、「西淀川ってこんなにイベントをやったら人も集まるねんで」と、「こんな魅力のあるまちなんやで」と伝えるために、万博を機にいろんなイベントをやって、西淀川の底力を上げていって、20年、30年先の未来の新しい整備につなげていけるのではないかということをお話し合っていました。

以上です。

(拍手)

#### ○西尾課長

ありがとうございました。それでは、次のグループの発表をお願いします。。

#### ○藤江委員

地域コミュニティの活性化チームの発表を、藤江がさせていただきます。

「地域コミュニティの活性化ができれば、ほかの問題も全部解決するのではないか」と大きく出ているのですが、どうしたら良いかが最初ちょっと悩ましくて、ただですね、今地域と関わっている人ではない人に関わってもらわないと地域コミュニティは活性化しないというのが大前提にありまして、まずは町会に入ってほしいなという話になりました。どのようにして町会に入ってもらえるのだろうかということで、今の知らない人からは拒まれることもあるのでどうしようかなということで、一つのキーワードとしては「防災」ということで、やっぱりみんなで助け合わなければいけないでしょうというのは、ここに関わってもらえる一つになるのではないかということになりました。

あとですね、コミュニティが生きている、生かされているって思うためには、やっぱり目に見えるものがあるともっと関心を持ってもらえるのではないかとということで、緑陰道路にこの間できた花壇も、ああいうのができてとても良いと思う、という意見が出ましたし、歌島橋交差点の下の地下に好文学園さんの写真が展示されているのも良いとか、矢倉緑地ももっと生かしてピクニックに行けるようになったら、みんな地域に関心を持ってくれるのではないかとということになりまして。とは言いながら、どんな人が関わって、コミュニティとは一体何かという話になりまして、今はすごく濃い関係のコミュニティがあるけれども、それだけだとなかなか人が関わってくれないので、趣味でやっていることとか得意なことと頑張っている人にいろいろ関わってもらえたら良いんじゃないかと。特に、男性はひきこもりがちなので、全然こういうのに参加して来ないのでどうしようかと。でも、まずは顔見知りになることが大事だという話になりました。また、年齢によってニーズが違うので、趣味も若い人でスケボーがしたいのであればそういうところを用意するとか、学校とかも集まる場所、増える場所を増やせないかと。地酒を飲む会があったら行くのになという意見もあったのですが、現状、学校施設でやっているイベントの場合は難しいな、という話になり

ました。

そういう話をしつつ、やっぱりこんな人もという話が出たのが外国の人ですね。緑陰道路を歩いていたら皆さんもよくお会いすると思うのですが、若い外国の方がたくさん歩いておられます。あの方々に、もっと地域活動に関わってもらえないかと。この間も佃でバザーをやったら外国の人も結構来ていただいたということなので、しんどいことではなくて、お祭りなど楽しいことを一緒にやれるようにして、盆踊りを盆ダンスにするぐらいのことをやれば、声をかけたら返事してくれるので良いのではないかと。あと、会社関係の人も地域のそういうところにあまり入っていないところもあるけれども、会社も気にしてくれているみたいなので、ぜひそういうところとつながっていただけると。

最終的には、西淀川を愛する気持ちを育むということで、さっきの発表と近いですけど、下町で気取らないまち西淀川。安全度が非常に高い。ちまたで宝石店強盗とかありますけど、西淀川では起こらないなど、宝石店がないからだ、という感じで落ちがついて終わっております。ありがとうございました。

(拍手)

#### ○西尾課長

では、続いて発表をお願いします。

#### ○西川委員

こんばんは。私たちのチームは、誰もがいきいきと暮らせる温かいまちづくりチームでございます。発表は西川がさせていただきます。

誰もがいきいきというところで、その「誰も」の中に子どもから大人まで、外国籍の人がいることや、障害の有無に関わらないといったことが大事かなということが前提として話されました。

私たちのチームには、ふだん障害に関わっている方、高齢者に関わっている方、民生委員さん、子ども支援に関わっている私という良いメンバーの組み合わせでして、

それぞれのフィールドから意見がたくさん出ました。「障害があっても例えば役割を持ってできるようなことって何だろう」とか、「いわゆる地域の役をやれる機会が増えたら良いな」とか、「障害児を育てる親を温かく見守れるような地域になっていくような取組がもっとあったら良いな」とか、あとは「高齢者については交通の便がもうちょっと何とかならないかな」とか、「ボランティアさんを高齢の人がやる場合もあるし、そういうときは熱中症とかいろいろ体のケアも考えながら気軽にできるようなことももっとあったら良いな」という話もたくさん出ました。

その中で、やっぱりいきいきといったところで、「それぞれが楽しく思ったり、やりがいを持っていたり、注目してもらったりということがあったら良いな」というところで、「ちょこっと♡助っ人ボランティア」や「となりのお節介さん」ももうちょっと知られて、そういうのをやった人が紹介されて、というのがもっと広まったら、そういうのもどんどん取組として盛り上がっていく要因になるのではないかという話が出ました。

それから、地域でいろいろと取り組まれていることが多いと思うのですが、そういうことについてもっと知れるようにならないかなと。例えば、大和田のほうでエイサーチームがあって活躍していることから、何かイベントをするときに来てもらえるようにそこでお声がけができないかなとか、そういう発想ってやっぱり知っている人はできるけど知らなかったらやっぱりできないという現状があるので、そういうのにアクセスする仕組みとか、ほかにも「ここの公園が良いよ」といった、子連れで遊びに行ける公園の情報などそういう小さい情報もそうなのですが、そういう地域の良い情報が得られるような、情報共有ができるような仕組みがあったら、つくってあげれば良いな、という話が出ました。

「相談をしようと思っても、なかなかどこに相談しに行ってもいいか分からない」というのが、それぞれの現場で関わって皆さん感じていることで、「人のつながりがあるからそれができるということだ」と思うという共通点がありました。結局はつなが

りをどうつくっていくか。知り合っていくという、顔を合わせる機会というのが本当に大事だということで、基本はやっぱり挨拶からかな、という話をしていました。

私個人的には「PTA活動が良いよ」とお勧めしていただきました。大人になってからつながれる友達というか、そういう話ができる地域のつながりというのは、やっぱりそこで培われたというのが大きいかなというのを先輩から教わったので、今日はそれを持って帰ろうと思います。

以上です。

(拍手)

### ○大西委員

皆さんのお話を聞いていたら手を挙げ忘れて、最後になりました。子どもたちがいきいきと育つ環境整備ということで、私たちのチームは話をさせていただきました。

大きく4点ほど課題的なご意見が出たのですけれども、まず1つ目は子どもたちが伸び伸びと遊べる場所、学校が終わった放課後の時間帯ですね。今、低学年層であれば「いきいき」のほうに参加して、放課後を過ごすということができているのですけれども、どうしてもやっぱり3年生、4年生、高学年になっていくと、いきいきは面白くないので行かないということで、ご家庭のほうに籠もる、もしくは同級生たちと遊びに出るっていう時間の過ごし方になるんですね。ただ、そういう放課後の中で、子どもたちがうまく遊ぶ時間をつくれないうるか、「遊び方が昔より下手になったかな」みたいなどころがありまして、地域にご迷惑をかけることがあって、例えば「公園でボール遊びをしてはいけません」というような制限がどんどん増えてきた中で、子どもたち自身が放課後を遊ぶ時間、過ごす時間、過ごせる場所が減ってきているよね、というお話がありました。

地域の中で子どもたちを支える、支えたいという方もたくさんいらっしゃるのですが、行政がすぐにどうこう予算をつけてできるようなことではないので、それならば地域で動こうとしてくださる方の後押しをしてもらえれば、もうちょっと活動がしやすい

かな、動きやすいかな、というお話になりました。そういう場所が増えることで、子どもたちが放課後、自分たちで選んで行く場所というのがもっと増えていくのではないかな。今ある子どものサポートをしてくれるような団体さんは、時間の制限があったり、月に数回しか活動できなかったりといった制限があるので、子どもたちがいつも選んで行ける場所というのが実際にはない状態になるんですね。

なので、ふだんから選んで行ける場所が増えていけば、お子さんたちの中でのトラブルも起きにくくなるのかなというところと、子どもたちが安心して大人と関わって、多世代で関わってコミュニケーションを取りつつ、自分たちの何かあったときの相談相手になっていただける関係づくりというのができるのかなということ一つの話は終わりました、続きまして保護者が相談できる機関を増やしたいってところからですね、PTA活動も大事ですけども、しんどいご家庭ほどそういう活動から逃げておられたり、相談する機関をうまく見つけられなかったりすることがあるなど実感しています。そういった方々が相談できる場所をもっとつukられないかなということで、別の議題で上がったヤングケアラーの支援の話でも出たのですけれども、「ここに相談すれば大丈夫」「いろんなところに行かなくても、まず例えば区役所でこの方に話を聞いていけばいろんな課につないでいただける」という、すごく理想的ではあるのですけれども、そういうオールマイティーなスペシャリストか、もしくはそこまでの知識を持っていらっしゃらなくても、この方に伝えれば必要な方にどんな方にもつないでいただける、つなぐことに長けた方がいらっしゃると良いなど。もう一つ欲を言えば、それが区役所にいけば、区役所でこの人に話をすればどんな方にもつないでいただけるという理想的な仕組みが西淀川区内であれば、子育てに悩んでいるお母さんやしんどい思いをしている子どもたちがずっと相談する先をつくりやすくなるのではないかな、ということでお話がありました。

最後、外国につながる子どもたちの現状がちょっと見えにくいということで、外国籍の方がたくさんいらっしゃるってところは分かるのですけれども、サポートし

ている方々はどんなことをされているかっていうのは重々理解していただけているのですけれども、一般の同じ学校にいる保護者の方というのは、外国籍のお母さん方、お父さん方との接点がどうしても少なくなってしまうので、コミュニケーション不足で実際、今どんな支援やサポートを受けているかが見えない状態ではないかなと。今あるにほんごカフェとか、そういったコミュニケーションができる場所を増やして、もっといろんな方に外国籍の方のお困り事というところを知っていただくことも大事な、ということでお話がありました。

1個付け足していいですか。役所の方につなぐ人、スペシャリストをつくりたいというお話の中から、「相談シート、フェイスシートみたいなものを1枚記入すれば、どんな手続もそれ1枚で回してもらえる」という仕組みがあればすごく良いな、というお話も出たので、ここで発表させていただきます。

以上です。

(拍手)

#### ○大垣議長

今、5つのブロックに分かれてお話させていただきました、本当にご意見のほうありがとうございました。

それでは続きまして、その他の議題に移りたいと思います。事務局から説明をよろしくをお願いします。

#### ○西尾課長

それでは、私からその他ということで2点ほどご連絡をさせていただきます。

区政会議の委員ですけれども、今年9月に区政会議の任期が満了という形になります。そして10月1日に委員改選ということになります。地域団体推薦枠の方については2期4年まで行けますので、新規・継続ということで各団体の方とご相談させていただきたいと思っています。区長推薦枠の方についても、1期2年の方につきましては、引き続きご就任をいただきたいと思います。また、これもご意向を確認さ

せていただきたいと思っています。そして、一般公募につきましては、また8月に公募を開始させていただいて、1期2年の方ということですので、またぜひとも応募いただけたらなと思っております。そして今回、区長推薦枠の方が退任で空きが生じた場合には、その枠を一般公募枠へ移行させていただいて、一般公募枠を増やしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。これが一点目でございます。また個別にご連絡させていただきたいと思っております。

そして2点目は、大野川緑陰道路の整備についてでございます。現在、道路管理者の建設局などの関係局と協議しておりまして、今後、地域活動協議会の会長の皆様とご相談しながら、大きな方向性を定めた上で報告させていただきたいと考えておりますので、もうしばらくお待ちいただきますようによろしく願いいたします。

以上でございます。

#### ○大垣議長

ありがとうございます。ただいまの説明について、何かご意見ございましたらよろしく願います。ないでしょうか。

それでは、ご出席いただいております市会、府会議員の先生方からご意見をいただきたいと思っております。

では、最初に市会議員の山田はじめ議員から、よろしく願います。

#### ○山田はじめ議員

こんばんは。お疲れさまでございます。市会議員の山田はじめでございます。

本当に各グループで様々な、とりわけ今回よかったなと私も拝見しながら思ったのは、それぞれの担当課長さんも入って、それがまたその議論に深みも出てくるようになったのかなと思いながら拝見をしていたところでございます。

ただ、ちょっと言わせてもらおうと、この運営方針を本来は立てるときにどんな運営方針にしたらいいのかなということ、前回とかあるいは前々回のタイミングで本来はやるような話だったのかなというような感想も若干持ったところなのですが、いず

れにしてもこういうそれぞれの皆さんの意見を引き出そうという工夫は感じるところでございました。

ただ、大分前に一回言わせてもらったことがあるかなと思うのですが、区役所の仕事がどのような、何をやる仕事として定められているかとか、あるいは予算の仕組みも、若干特殊というか、そんなところもあるので、そういったところを逆に区政会議の委員の皆さんにもご理解いただいた上で、逆に今度その区役所の仕事を越えた部分をもっとよくできるのがあれば、場合によっては各課長さんから逆に「区政会議の委員さんの意見を聞きたい」ということもあるのではないかとも思うところでして、そのような運営の在り方も今後あるのかなと思ったところでございます。

様々、24区で区政会議をやっておりまして、西淀川区役所に長く勤めておられる課長さんもおられたら、よその区役所におられて西淀川区に来られた方もおられるので、よその区政会議の様々な良いところもまた反映しながら、より良い区政会議の議論をより期待をさせていただきます。

本日はお疲れさまでございました。ありがとうございます

#### ○大垣議長

ありがとうございます。

続きまして、山田かなさん、よろしく申し上げます。

#### ○山田かな議員

皆さん、こんばんは。遅い時間帯、皆さんお仕事がありながら本当にお疲れさまでございます。

今回、初めて参加させていただきました。やはりディスカッションといいますか、自分が常日頃思っていることを口に出す、本当に隣の方を信頼して、コミュニケーションをしっかりとって、お互いの意見を引き合いに出すことが本当に素晴らしいなと思っておりまして、これをいかに広く、いかに深くできるか、私たちが後押しできたらなと思っております。

今日は遅い時間、本当にお疲れさまでした。ありがとうございます。

○大垣議長

ありがとうございます。

最後に区長のほうから、また本日の会議についての総括コメントをよろしくお願ひします。

○中島区長

どうも皆さん、長時間に及び議論をいただきまして、本当にありがとうございます。

いろんな新しい視点というのもご提案いただきまして、本当にありがとうございます。ただ、これをご提案いただいただけでこのまま終わってしまうというのが非常にもったいないので、今日、各テーブルには担当課長をそれぞれ配置しておりましたので、今度、区役所のほうで、これを受けてどうするかということはしっかり考えてみようと思っております。それをまた皆さん方にお返しして、それでさらにそこで議論を深めていくというような形で、どうしていったら実現していくか、それも効率的に実現していくのかというところが見えてくるかなと。その繰り返しがどんどん良いものを生むのかなと思っておりますので、ぜひまた今後も皆様と議論、対話というところを重ねていきたいと思っておりますし、区政会議の日だけではございませんので、ぜひほかの機会でも、役所に来られる、あるいは電話でも何でも結構ですので、「ここ、この間こう言ったけど、どうだった」というようなことを、日頃からぜひ議論していただく。これも存分にありだと思っておりますので、ぜひ皆様方と議論を深めながら、西淀川区、先ほども出てましたけども、やっぱりいかに愛するまちにできるかというところ、それがキーワードかなというように私も感じましたので、ぜひ皆様と西淀川を愛するまちにもっともっとするというようなところを目指しまして、本日は皆様方、どうもありがとうございました。

(拍手)

○大垣議長

ありがとうございました

それでは、ほかに事務局からご案内のほう、よろしく申し上げます。

○西尾課長

それでは、事務局から一点。

区政会議の次第の最初に書かせていただいているのですが、次回会議ですけれども、次回会議は令和5年9月26日火曜日を予定しておりますので、ぜひとも予定に入れておいていただいて、ぜひともご参加いただきますようお願いいたします。

以上でございます。

○大垣議長

ありがとうございます。

それで、まとめの閉会というようなことですが、今こうして私が司会をさせていただいておりますけど、本来からしてみたら、連合振興町会がここで司会すること自体がおかしいのです。というのは、この区政会議の席でちょっとだけ言わせてほしいのは、このような会議をやっていってくれておまして、もう本当に良い意見も言ってもらっておりますけど、それがどこまでが反映していつているかということ突き止める意味もあって、私はここにいるわけです。

本来、もう議長などせず、傍聴席にしながら聞いて、「ああそうか、こういうことをやっているなら、これをまた理解しながら前へ進めていければいいかな」と思っておりましたけど、今回このようにして、若い人たちの意見を聞きながら、この西淀川区の行政と一緒に我々地域のほうと一緒に引き継いでやっていければいいかなということで、議長を区長から言われてやるようになっていきますので、議長をしながらこれからも前向きな形で、この西淀川を前向きに進めていっていければいいかなと思っております。それには区制100周年のように、目の前に来ておりますので、そのまたいろんな課題が見えてくると思います。知恵も借りて前向きに行きたいな

と思っておりますので、よろしくお願いいたします。

本当に言いたいことばかり言わせてもらっている会長で申し訳ありませんがよろしく  
お願いします、ということで、閉会にしたいと思います。

ありがとうございました。以上です。

—了—